

2-2-4) グローバル補助金 (GG) の立案から報告完了までの流れ

グローバル補助金は、年度を通じて随時申請することができ（奨学生については別途）、申請が受理された順に TRF 審査が行われます。

プロジェクトの立案から完了までの流れを示します。

調査 提案

- ー代表提唱者は現地調査を実施し、実施国・地域代表提唱者と協働して、『地域社会調査の結果フォーム』(※) 事業計画書等を作成する。
- ークラブは、地区ロータリー財団委員会に**地区審査のための書類を提出**する。

※地域社会調査に係る費用を賄うために、地区補助金の資金を活用することができる。

- 地区審査のための書類:** 1) グローバル補助金事業計画書 (様式 501)
2) DDF 使用申請書 (様式 511)
3) 『地域社会調査の結果フォーム』

地区審査

- ー地区ロータリー財団委員会は、補助金申請要件に合致しているか確認する。
- ー地区ロータリー財団委員会は、確認の後、DDF の使用を承認し、クラブ (代表提唱者) の Web 申請を承認する。(必要に応じ Web 申請等を支援)

Web 申請 TRF 審査

- ークラブは、申請書記入後、地区ロータリー財団委員会及び地区ガバナーの承認をもらい、TRF に Web 申請する。

※TRF への申請後、不足事項等がある場合は、TRF から照会があり、クラブは回答を含め適切に対応する。

※TRF からメールにより承認・不承認が通知される。(奨学生については、承認により奨学生として決定される。)

※補助金を受領し資金管理を行う場合は、申請書の審査段階で銀行口座情報を補助金センターから提出する。署名人 2 人が必要。署名人は口座の所有者でなければならない。

事業開始

- ーTRF 承認後、クラブは、グローバル補助金財務管理計画規定を作成し、補助金管理委員会を設置する。
- ークラブが**法令遵守の承認**を行うと、**指定口座に入金**される。
(奨学生の場合、約 4 週間後に奨学生が指定するクラブ又は地区口座に入金予定)

記録 報告

- ークラブは、事業活動の写真、記録等を随時作成する。
- ークラブは、MyROTARY の画面から、プロジェクト期間中 12 ヶ月以内毎に「**中間報告書**」を提出し、プロジェクト完了後 2 ヶ月以内に「**最終報告書**」を提出する。

完了

- ーTRF は「最終報告書」を受理し、現地の地域社会が持続可能な手段を備えたことを確認し、**補助金を修了**とする。
- ークラブは、プロジェクトに関する**書類を 5 年間保管**する。(MOU「6. 書類の保管」による)

※TRF 審査を受ける為、WEB 申請時の言語は二か国語（日本語・英語）での記載が望ましいです。申請書の入力方法については第 2790 地区ロータリー財団へ、申請内容については国際ロータリー日本事務局財団室へ問い合わせして下さい。

公益財団法人ロータリー日本財団 (TEL) 03-5439-5806 (FAX) 03-5439-0405
(Email) RotaryFoundation.Japan@rotary.org